

平成25年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	9. 美術館施設改修事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	6. 美術館費	担当所属	美術館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額		
臨時	単独	計画	0	0	0		第4章	「明日へつながるまちづくり」～産業経済の活性化、文化・芸術・観光の充実～	31,562
							基本施策9	芸術文化活動の盛んなまちにします	平成23年度 2,000
									平成24年度 2,000
							施策3	芸術・文化とのふれあいの場を提供します	平成25年度 23,562
								平成26年度 2,000	
							平成27年度 2,000	2,000	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		23,172

財源内訳							一般財源
本年度当初要求額							0
本年度当初査定額							23,172

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 二酸化炭素消火設備及び粉末消火設備の液化ガス及び薬剤ポンベの容器弁は、消防法関連令規の改正により製造から20年までに点検することが義務づけられており、平成25年12月に製造後20年を迎えることから対象ポンベの交換を行います。(容器弁の点検は実質ポンベの交換となります。) また、機械式駐車場の閉鎖により二酸化炭素消火設備を2階展示室、5階収蔵庫、1階仮収蔵庫に縮小し交換対象ポンベ数を減らします。</p>	<p>(事業の目的) 開館から18年が経過しているため、施設が経年劣化しています。美術館施設の恒常的な施設機能を維持するため、施設の管理修理を行います。</p>	<p>(事業の効果) 美術館利用者が快適に施設を利用できるように施設を維持します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 施設・設備が老朽化しており、不具合の頻度が増えているため、大規模修繕が必要になっています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 二酸化炭素消火設備の容器弁が製造20年となるため、消防法に基づき二酸化炭素ポンベの交換を行います。</p>	<p>(見積についての特記事項) 二酸化炭素消火設備のポンベ交換にあたり、消火設備の見直しを行い機械式駐車場の閉鎖することにより交換費用の削減を図りました。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
15	23,172	0	23,172

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	23,172	0